

参 考 手 本

霜月冬氣潔しそうげつとうきいさぎよ

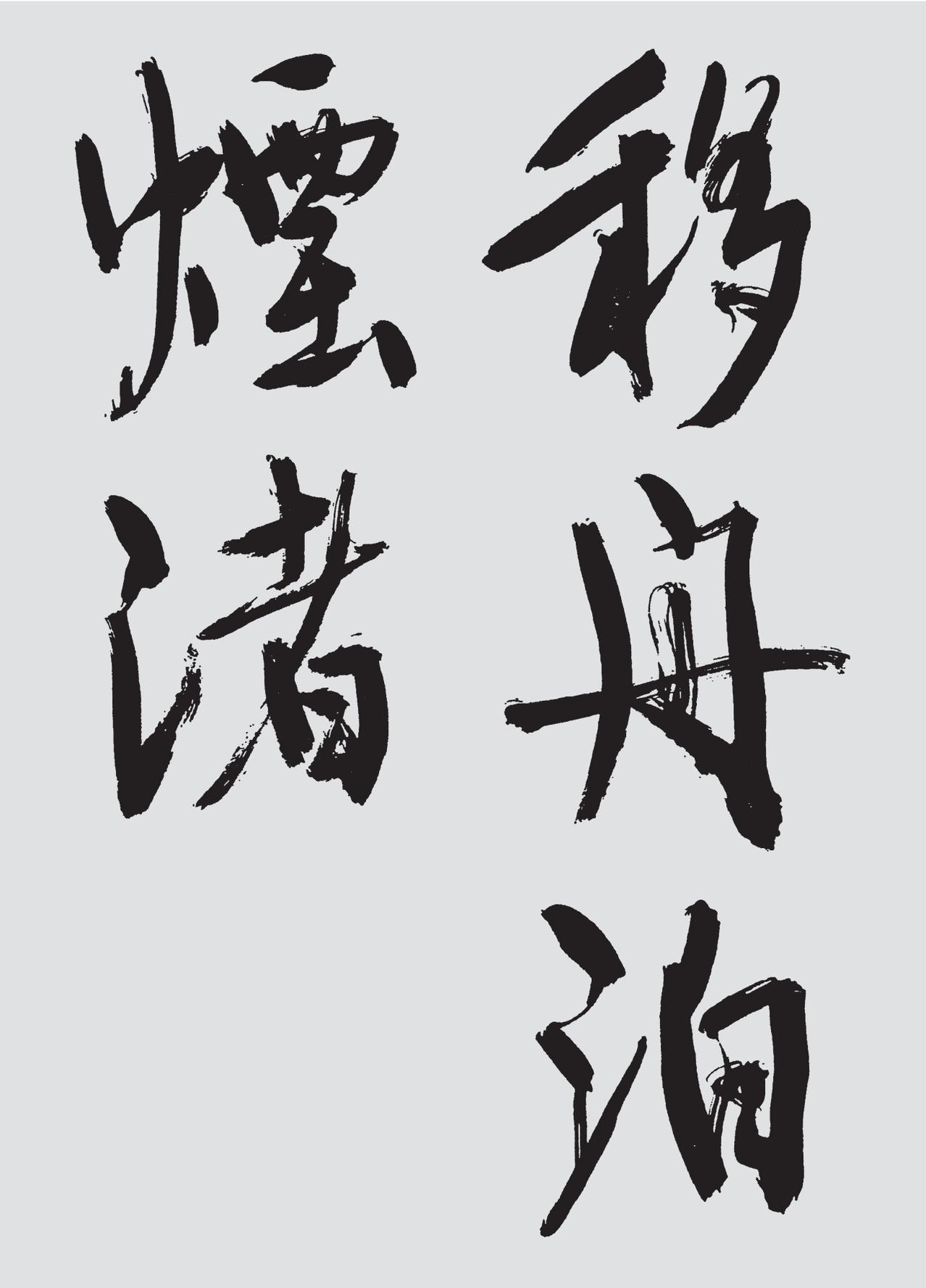


※これは規定課題ではありません。

高 木 聖 雨 先 生

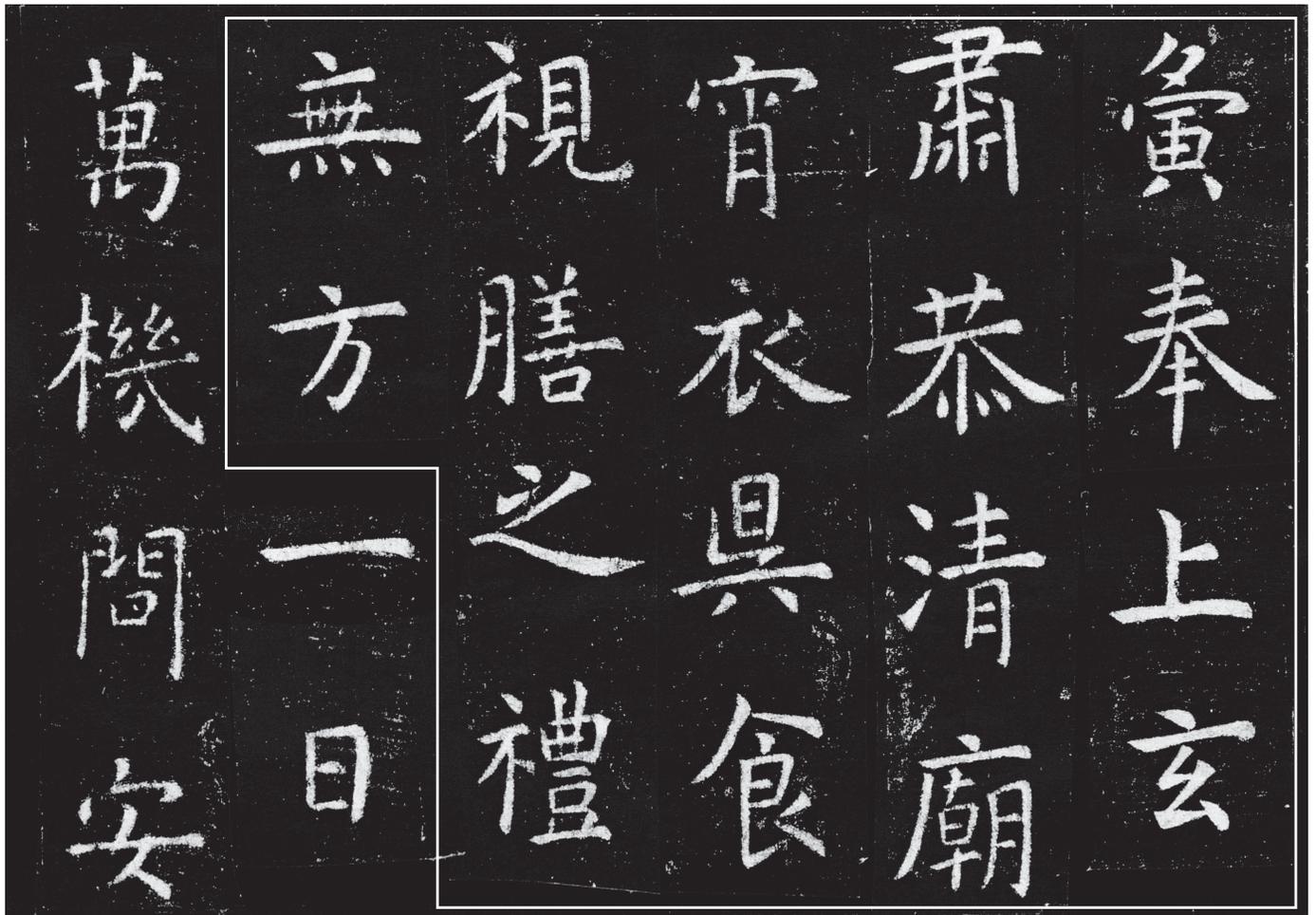
参 考 手 本

舟を移して煙渚に泊す



※これは規定課題ではありません。

成 瀬 映 山 先 生



ぐせいなん 虞世南 (唐) 『孔子廟堂碑』 ⑦

夤奉上玄。肅恭清廟。宵衣具食。視膳之禮無方。一日萬機。問安。

夤つつしんで上玄じょうげんを奉たてまつり、肅つつしんで清廟せいびやうを恭うやまう。宵よいに衣きて晨ゆうべに食くらい、視膳しぜんの礼ならは方ならぶる無し。一日万機、問安もんあんの

つつしんで (上天を) 奉り、うやうやしく清廟を尊び、朝暗いときから衣服をつけ、夕暮れになってから食事をとり、父の食事に対する視膳しぜんの礼の丁寧さはくらべるものもないほどで、日中は政務に励んですべてを処理し、問安もんあんの

【今月の課題】

「夤奉上玄肅恭清廟宵衣具食視膳之禮無方」(18字)

〔この課題を同月の条幅随意には出品出来ません〕

条幅のバーコード出品券にはA・Bでは無く段・級を記入してください

(12月10日締切)

条幅規定 ②

B部 (四段以下)

『枯樹賦』

褚遂良

(唐)

②4

黄河千里槎若

非金谷滿園樹即是河陽

一縣花桓大司馬聞而歎

曰昔年移柳依漢南今

看搖落悽愴江潭樹

猶如人何以堪

黄河千里槎。若

非金谷滿園樹。即是河陽

一縣花。桓大司馬聞而歎

曰。昔年移柳。依依漢南。今

看搖落。悽愴江潭。樹

猶如此。人何以堪。

黄河千里の槎。若し金谷満園の樹に非ざれば、即ち是れ河陽の一県花と。桓大司馬聞きて歎じて曰く、昔年柳を移して、漢南に依々たり、今揺落するを見て、江潭に悽愴たり。樹すら猶お此くの如し。人は何を以てか堪えん。

(12月10日締切)

【今月の課題】「非金谷滿園樹即是河陽一縣花桓大司馬聞而」(18字)

【この課題を同月の条幅随意には出品出来ません】

条幅のバーコード出品券にはA・Bでは無く段・綴を記入して下さい

半紙規定 (二)

※清書の提出は〔初段以上〕楷書か隸書
〔二級以下〕楷書



九成宮醴泉銘 (唐・欧陽詢)

〔中〕及萬靈則醴

〔中〕は萬靈に及べば、則ち醴泉

半紙規定 (一)

曹全碑 (漢・作者不詳)

※清書作品には支部名・段級・雅号を必ず筆で記入して下さい。



鐸于曹國因氏焉

弟叔振鐸を曹國に封ず。因つて焉を氏とす。

〔この課題を同月の半紙随意には出品出来ません〕
(12月10日締切)

条幅参考手本

北風吹白雲萬里渡河汾心緒逢搖落秋聲不可聞

翠濤

主幹 菅野翠濤

北風吹白雲 萬里渡河汾 心緒逢搖落 秋聲不可聞
 北風白雲を吹き 萬里河汾を渡る 心緒搖落に逢ひ 秋聲聞く可からず

大井岳陵先生

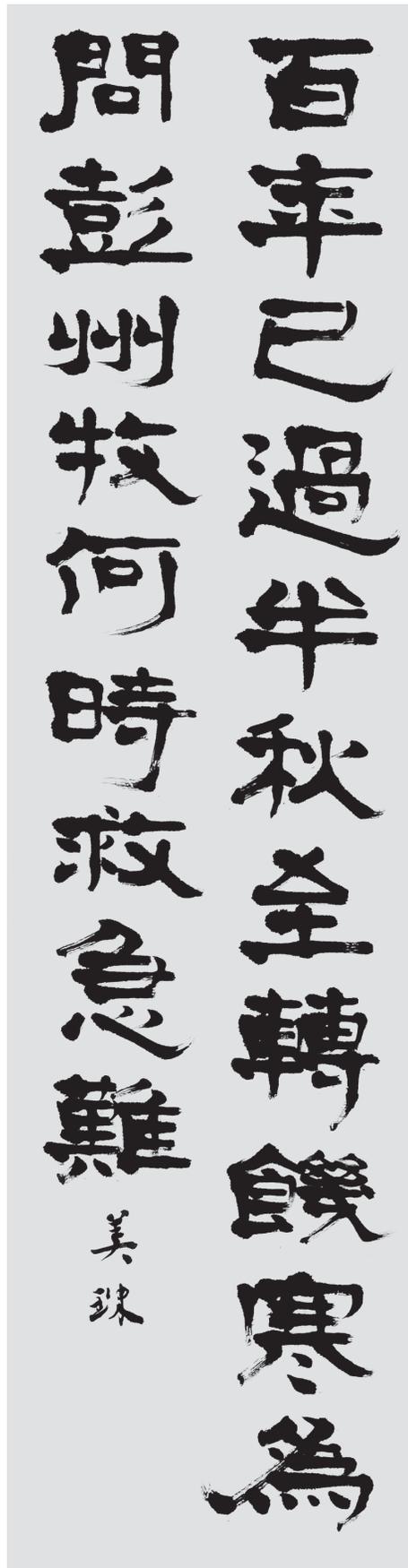
寶匣從此閉朱絃誰復調 祇應隨玉樹同向土中銷

忘復

寶匣從此閉 朱絃誰復調 祇應隨玉樹 同向土中銷
 宝匣此れ従り閉ぢ 朱絃誰か復た調へん 祇だ応に玉樹に随つて 同じく土中に向かつて銷するなるべし

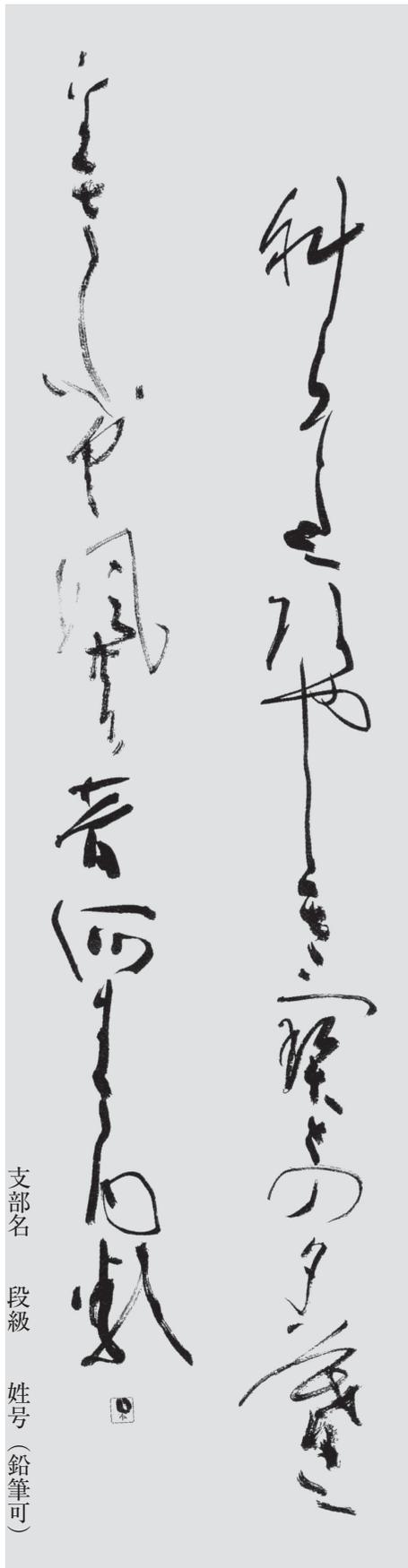
条幅参考手本

条幅かな



渡辺美珠先生

百年已過半 秋至轉饑寒 為問彭州牧 何時救急難
 百年已に半を過ぐ 秋至つてうたた飢寒なり 為に問ふ彭州の牧に 何れの時にか急難を救うかと



浮乗清郷先生

さらでだにあやしきほどの夕暮に荻ふく風の音ぞきこゆる (斎宮女御)
 斜 多二阿 寶 二手(宮) 具 農 所支 類

※かな部は支部名・段級・姓号を鉛筆で左下部に添え書きして下さい。

支部名 段級 姓号(鉛筆可)

(12月10日締切)

半紙かな（1級以下）

日ひにかゝる雲くもやししばしののわたりたりどりどり（松尾芭蕉）

支部名
級
姓
号（鉛筆可）

※ちらし文字変換は自由

日にかゝる雲やし
ばのわたりどり

冬ふゆ枯がれの野のべとわが身みを思おもひせばも燃もえても春はるを待またましものを（伊勢）

小林素水先生

※ちらし文字変換は自由

支部名
段
姓
号（鉛筆可）

冬枯れの野べとわが身を思ひせば燃えても春を待たましものを

浮乗清郷先生

※支部名・級・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。

※支部名・段・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。

(12月10日締切)

実 用 文

※準三段以上…行書を草書に変換は自由

〈書風任意〉

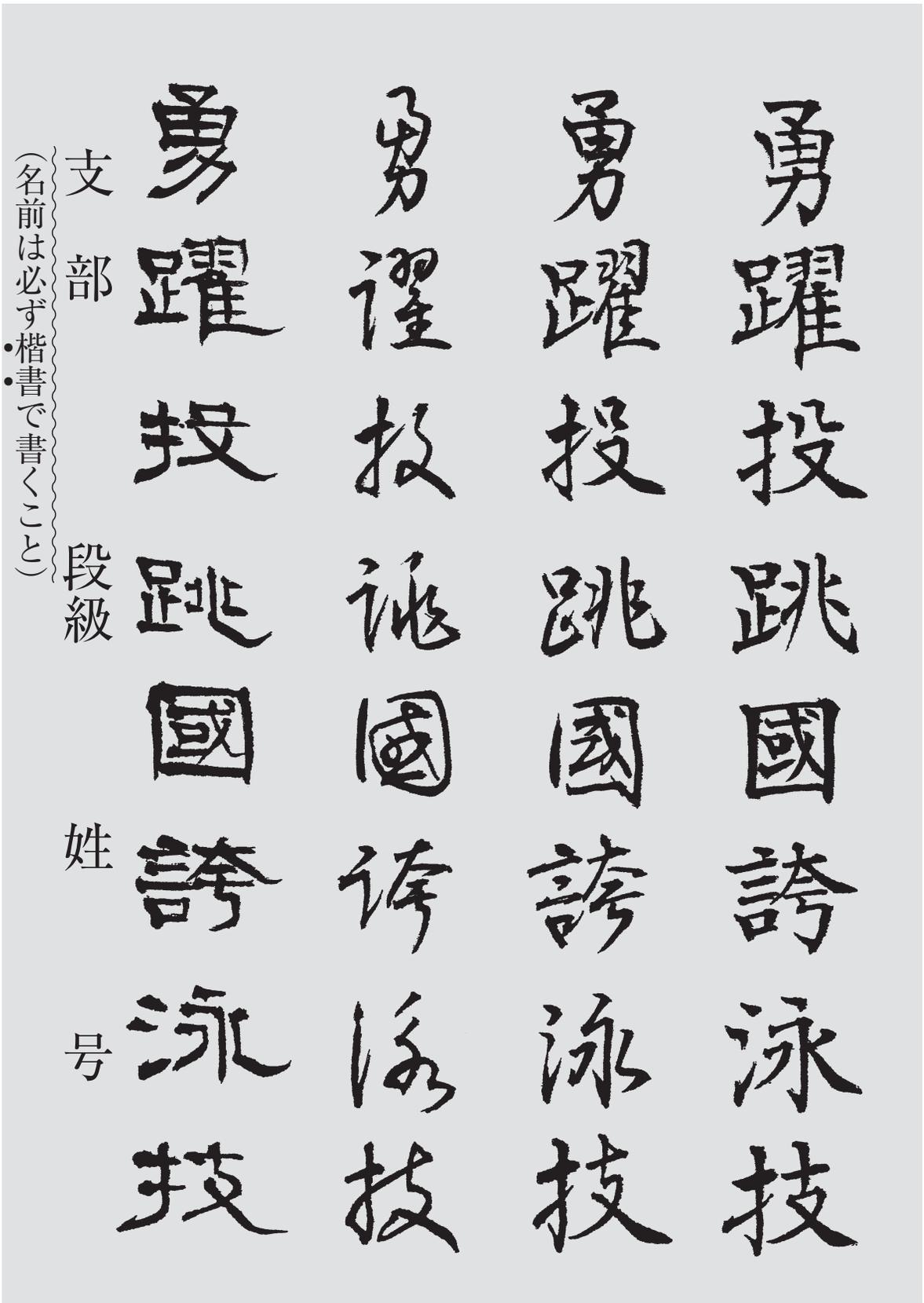
書を学ぶ上で基礎や応用の
学習は大切です。又、書活動と
して書の美の探求・書の伝統
の研究は逸かなる道と思います。

支部名 段級 姓号

石田輝仙先生

(12月10日締切)

細 字



支部
 段級
 姓
 号

(名前は必ず楷書で書くこと)

※一級〜八級は草書まで。 初段以上は隷書まで。 ※名前は楷書以外では違反になります。 17 cm (よこ) × 24 cm (たて)

国こく 投とう 跳ちやう 泳えい
 誇こ なげ、とぶ。 技ぎ
 国の誇り。 水泳の技術。

硬筆（1級以下）

2行、楷書

独特の粘りが特徴の長芋は、根が
 伸びて太った根菜です。
 支部
 級
 姓
 号

硬筆（初段以上）

3行、行草書

墨をする、筆に墨を含ませ和紙に
 むかう、文字を書くという事は絵を
 描くようにも自らが現れる。

支部
 級
 姓
 号

…墨を…文字を…事は…描く…

齊藤 翦流 先生

青柳 江雲 先生

※本院定型用紙・たて半分に書く

(12月10日締切)

中2用

| | | |
|-------------|---|---|
| 支 部 名 | 月 | 晴 |
| 段 級 | 夜 | れ |
| 名 | | た |
| 前 | | |

渡邊南嶂先生

中3用

| | | |
|-------------|---|---|
| 支 部 名 | く | 北 |
| 段 級 | 頃 | 風 |
| 名 | | 吹 |
| 前 | | |

大越三宗先生

小6用

| | | |
|-------------|---|---|
| 支 部 名 | 世 | 雪 |
| 段 級 | | 三 |
| 名 | 界 | の |
| 前 | | |

渡邊南嶂先生

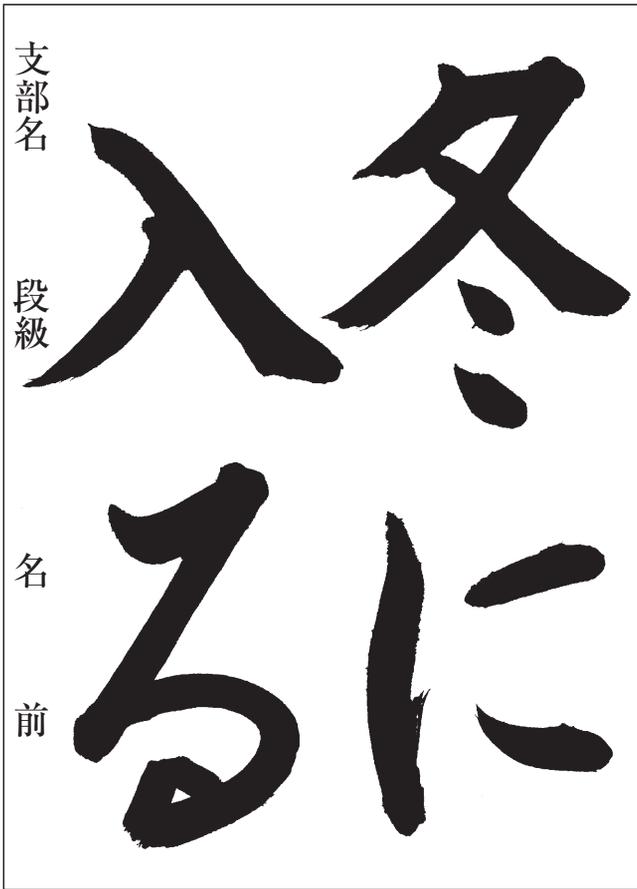
中1用

| | | |
|-------------|---|---|
| 支 部 名 | ち | 池 |
| 段 級 | 葉 | の |
| 名 | | 落 |
| 前 | | |

渡邊南嶂先生

(12月10日締切)

小4用



大越三宗先生

小5用



大越三宗先生

小2用



鈴木翫恵先生

小3用



鈴木翫恵先生

(12月10日締切)

中1

新しい技術が開発され、
て生活が便利になる。

中1~中3

中2

自分の信念に従い、
しい人生を送りたい。

青柳江

中3

日本海の荒波が、
く海岸に打ち寄せる。

雲先生

小1・幼年用

支部名

段級

名

前

まど

鈴木蕙先生

小1・幼年

きのう、おかあさんの
てつだいをしました。

小1~小3

小2

ゆうべ、かわいい子犬
がうまれました。

鈴木蕙

小3

冬にはかりなどが日本
に、わたつてくる。

翠先生

小4

夜空を見上げると、星
がかがやいている。

小4~小6

小5

体育の時間、鉄ぼうで
さか上がりができた。

田辺翠

小6

字形を正しく整えるた
めに、筆順は大事です。

鶴先生

(12月10日締切)

小学部小筆課題

| | | |
|-----|--------------|------|
| 支部名 | 北の国 初雪まよう | 主幹 |
| 段級 | | 菅野翠濤 |
| 名 | | |
| 前 | | |

中学部かな課題

| | | |
|-----|--------------------------|------|
| 支部名 | 雪ふるると いひしはかりの人 しづか | 主幹 |
| 段級 | | 菅野翠濤 |
| 名 | | |
| 前 | | |

船久保 棠苑 先生

※半紙半分を書いて下さい。(12月10日締切) ※半紙半分を書いて下さい。

1月10日締切課題予告

A部条幅規定 終古皇上以幾覽餘暇遍該群籍乃製金鏡述

B部条幅規定 歎曰昔年移柳依依漢南今看搖落悽愴江潭樹

かな条幅規定 わが君は千代に八千代にさざれ石の巖となりて苔のむすまで(読人しらず)

半紙規定(初段以上) 焉秦漢之際 曹 半紙規定(一級以下) 泉出瑞應圖

半紙かな(初段以上) 春の野の若菜ならねど君がためとしの数をもつまむとぞ思ふ(伊勢)

半紙かな(一級以下) 歌留多とる皆美しく負けまじく(高浜虚子)

実用文 年賀状の賀詞は目上の人に対して、「謹賀新年」等の四文字が相応しい。

一般硬筆初段以上 「迎春」「寿」等には敬いの意味が含まれず、失礼に当たります。日々に湧き立つさまざまな出来事を経て迎える年の瀬をできるだけ心穏やかに過ごしたい。

一般硬筆一級以下 雪椿は、日本海側の雪深い地域でしか見られない貴重な木です。

令和7年学生書初めコンクール課題1月10日(金)締切

高校毛筆 新歳多清興 高校硬筆 十二月号13ページ一般硬筆一級以下課題(行書可)

中三毛筆 雪花新春 中三硬筆 残り少ない中学生生活を有意義に過ごそう。

中二毛筆 新春大空 中二硬筆 お互いに最良の年になるよう、努力しよう。

中一毛筆 光る新雪 中一硬筆 新年を迎え、みなさまのご幸福を祈ります。

小六毛筆 初春の空 小六硬筆 先生のご健康を、おいのり申し上げます。

小五毛筆 天下の春 小五硬筆 父に年がじょうの書き方を教えてもらった。

小四毛筆 正月の空 小四硬筆 弟といっしょに、年がじょうを書きました。

小三毛筆 お年だま 小三硬筆 かきぞめ大会で、金しょうをとりたいたです。

小二毛筆 はつゆめ 小二硬筆 先生、ことしもよろしくおねがいます。

小一毛筆 ふじ 小一硬筆 ことしはじめて、かきぞめをしました。